



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月8日

東証一部

上場会社名 株式会社ビー・エム・エル

上場取引所

コード番号 4694

URL <http://www.bml.co.jp>

代表者 (役職名)代表取締役社長

(氏名)近藤 健介

問合せ先責任者 (役職名)取締役執行役員
企画本部副本部長

(氏名)武部 憲尚

(TEL)03(3350)0111

四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日

配当支払開始予定日

平成29年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	57,912	2.4	5,730	2.2	5,926	2.9	3,717	4.4
29年3月期第2四半期	56,535	3.5	5,608	26.1	5,759	25.2	3,560	30.2

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 4,135百万円(9.3%) 29年3月期第2四半期 3,784百万円(28.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	87.49	87.19
29年3月期第2四半期	83.81	83.53

(注) 当社は、平成28年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。

1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	109,019	73,941	64.6
29年3月期	104,244	70,647	64.5

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 70,397百万円 29年3月期 67,199百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	17.50	—	17.50	35.00
30年3月期	—	17.50	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	17.50	35.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	114,000	2.5	9,400	0.8	9,750	0.4	5,960	0.2	140.27

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社、除外 — 社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

30年3月期2Q	44,014,726株	29年3月期	44,014,726株
30年3月期2Q	1,505,916株	29年3月期	1,526,338株
30年3月期2Q	42,494,251株	29年3月期2Q	42,481,901株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 当社は、平成28年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。
株式数については、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
3. その他	9
販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

国民医療費は、高齢化の進展と高額医薬品の普及、また医療の技術が進歩していく中で、毎年増加傾向にあり、今後も拍車がかかる見通しであることから、各種の医療制度改革が実施され医療費抑制に向けた様々な取り組みが行われております。

受託臨床検査業界におきましては、2年毎に実施されている診療報酬改定年度に当たらず、検体検査に係る保険点数(公定価格)の引下げはなかったものの業者間競争が続いていることから事業環境は引き続き厳しい状況にあります。

当社としましては、平成29年度は第6次中期経営計画(平成27年度～平成29年度)の最終年度にあたり、ビジョンとしております『医療界に信頼され選ばれる企業をめざす』を達成すべく、引き続き品質・サービス向上に取り組んでおります。

こうした中で、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高57,912百万円(前年同期比2.4%増)、営業利益5,730百万円(前年同期比2.2%増)、経常利益5,926百万円(前年同期比2.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益3,717百万円(前年同期比4.4%増)となりました。利益面につきましては、品質・サービスの向上の為の人的投資、設備投資を積極的に実施したことや、雇用の安定などを目的として、非正規従業員に対する処遇改善を実施したことで費用が増加しました。これらの理由により期初計画では前年同期比で減益を見込んでおりましたが、計画を上回る増収により、費用の増加を吸収し、前年同期比で増益となりました。

以下に事業別の概況をご報告いたします。

臨床検査事業につきましては、現場と本部の連携を強化し、病院・クリニック市場の開拓を図るとともに、大型施設への提案営業、既存ユーザーへの重点検査項目拡販などの深耕営業、地方ラボ・分離ラボを活用したラボ活用戦略を実施し、業績の拡大を図りました。この結果、臨床検査事業の売上高は、前年同期比2.1%の増収となりました。

食品衛生事業につきましては、(株)BMLフード・サイエンスで、食品検査が好調だったことに加え、ノロウイルス検査、商品品質コンサルティングが堅調であったことから順調に推移いたしました。これらにより、売上高は前年同期比2.2%の増収となりました。

以上の結果、検査事業の売上高は55,084百万円と前年同期比2.1%の増収となりました。

医療情報システム事業につきましては、診療所版電子カルテ「クオリス(Qualis)」と「メディカルステーション(MS)」のラインアップにより、新規契約の獲得と既存ユーザーへのリプレースを推進しました。さらに販社との関係を強化しました。これらにより、売上高は前年同期比5.7%の増収となりました。

その他事業につきましては、(株)岡山医学検査センターの調剤薬局事業の売上が、当期4月に開設しました新店舗の売上貢献で増加し、その他事業全体の売上高は前年同期比16.1%の増収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の連結財政状態は、総資産109,019百万円（前期末比4,774百万円増）、純資産73,941百万円（前期末比3,294百万円増）、自己資本比率64.6%（前期末比0.1%増）となっています。

主な増減項目は、資産の部では、流動資産で現金及び預金が3,401百万円、受取手形及び売掛金が1,216百万円、それぞれ増加しています。また、純資産の部では利益剰余金が2,986百万円増加しています。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前年同期に比べ5,390百万円増加し、42,009百万円となりました。各活動区分別のキャッシュ・フローの状況及び主な増減要因は、以下のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、7,077百万円の資金収入（前年同期比865百万円収入増）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,622百万円の資金支出（前年同期比1,455百万円支出減）となりました。これは主に、定期預金の預入による支出が477百万円減少し、定期預金の払戻による収入が1,072百万円増加したことなどによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,567百万円の資金支出（前年同期比140百万円支出増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、期初の予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	41,281	44,683
受取手形及び売掛金	20,020	21,237
商品及び製品	197	316
仕掛品	562	492
原材料及び貯蔵品	2,069	2,021
その他	2,388	2,302
貸倒引当金	△79	△77
流動資産合計	66,439	70,975
固定資産		
有形固定資産		
土地	13,057	13,055
その他(純額)	16,166	16,119
有形固定資産合計	29,223	29,175
無形固定資産		
その他	3,508	3,726
無形固定資産合計	3,508	3,726
投資その他の資産		
その他	5,217	5,278
貸倒引当金	△144	△136
投資その他の資産合計	5,073	5,142
固定資産合計	37,805	38,044
資産合計	104,244	109,019
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,399	14,632
未払法人税等	1,564	1,970
その他	10,514	11,160
流動負債合計	26,479	27,762
固定負債		
役員退職慰労引当金	185	174
退職給付に係る負債	4,506	4,492
その他	2,427	2,649
固定負債合計	7,118	7,315
負債合計	33,597	35,078

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,045	6,045
資本剰余金	6,646	6,652
利益剰余金	55,030	58,016
自己株式	△1,237	△1,220
株主資本合計	66,485	69,493
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	554	727
退職給付に係る調整累計額	159	177
その他の包括利益累計額合計	714	904
新株予約権	142	138
非支配株主持分	3,304	3,405
純資産合計	70,647	73,941
負債純資産合計	104,244	109,019

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	56,535	57,912
売上原価	35,541	36,589
売上総利益	20,993	21,322
販売費及び一般管理費	15,385	15,591
営業利益	5,608	5,730
営業外収益		
不動産賃貸料	32	30
投資有価証券運用益	-	59
その他	175	146
営業外収益合計	208	236
営業外費用		
支払利息	21	20
不動産賃貸原価	15	15
投資有価証券運用損	12	-
その他	7	4
営業外費用合計	57	40
経常利益	5,759	5,926
特別利益		
関係会社清算益	-	39
その他	0	0
特別利益合計	0	40
特別損失		
固定資産除却損	16	37
その他	9	1
特別損失合計	26	39
税金等調整前四半期純利益	5,732	5,927
法人税、住民税及び事業税	1,925	1,974
法人税等調整額	23	8
法人税等合計	1,949	1,982
四半期純利益	3,783	3,945
非支配株主に帰属する四半期純利益	222	227
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,560	3,717

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	3,783	3,945
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△32	171
退職給付に係る調整額	34	18
その他の包括利益合計	1	190
四半期包括利益	3,784	4,135
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,560	3,907
非支配株主に係る四半期包括利益	224	227

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,732	5,927
減価償却費	2,299	2,399
のれん償却額	158	156
支払利息	21	20
売上債権の増減額(△は増加)	△550	△1,203
たな卸資産の増減額(△は増加)	△53	1
仕入債務の増減額(△は減少)	358	232
未払消費税等の増減額(△は減少)	△40	146
その他	217	838
小計	8,144	8,520
利息の支払額	△21	△20
法人税等の支払額	△1,984	△1,528
その他の収入	73	106
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,212	7,077
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,267	△1,789
定期預金の払戻による収入	1,203	2,275
有形固定資産の取得による支出	△1,643	△1,399
無形固定資産の取得による支出	△422	△813
その他	51	104
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,078	△1,622
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△685	△686
配当金の支払額	△637	△743
その他	△104	△137
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,426	△1,567
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,708	3,887
現金及び現金同等物の期首残高	34,910	38,122
現金及び現金同等物の四半期末残高	36,619	42,009

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

該当事項はありません。

3. その他

販売の状況

検査区分		前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)		増減率(%)
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
検査事業	臨床検査事業 生化学的検査	23,218	41.1	23,549	40.7	1.4
	血液学的検査	4,924	8.7	4,988	8.6	1.3
	免疫学的検査	11,426	20.2	11,515	19.9	0.8
	微生物学的検査	3,191	5.7	3,357	5.8	5.2
	病理学的検査	3,744	6.6	3,902	6.7	4.2
	その他検査	5,435	9.6	5,740	9.9	5.6
	(臨床検査事業小計)	51,941	91.9	53,053	91.6	2.1
	その他検査事業 検査事業小計	1,987 53,928	3.5 95.4	2,030 55,084	3.5 95.1	2.2 2.1
医療情報システム事業	1,911	3.4	2,021	3.5	5.7	
その他事業	694	1.2	806	1.4	16.1	
合計	56,535	100.0	57,912	100.0	2.4	